



第 2 学期を終えるにあたって

いよいよ年の瀬を迎え、皆様には何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。猛暑や台風、そして感染症拡大にともなう様々な影響を心配しながら始めた第 2 学期も本日をもちまして終了しました。



ふり返りますと、実りの 2 学期は、運動会や修学旅行、野外活動、校内マラソン大会などの学校行事、生活科や社会科、総合的な学習の時間などの校外学習、そして各教科、教科外、特別活動などの様々な教育活動を実施してまいりました。日常の学習はもとより、数多くの行事を通して、子どもたちはそれぞれに個性を伸ばし、学力を身に付け、心身ともに一回り大きく成長することができました。

この学びや学校生活の様子が、本日持ち帰ります通知表に記されています。子どもたちは、どのような思いで通知表を手にしたのでしょうか。また、保護者の方々はどのような言葉を子どもたちにおかけになるのでしょうか。

1 学期の保護者通信欄には、「毎日元気で、楽しそうに通学しているのでうれしく思う。」「様々な事に興味を持ち、挑戦してみたいという気持ちが出てきたようだ。」「友達の刺激を受けながら苦手なことを少しずつ克服できていければいい。」「よく頑張っている。この調子でもっともっと成長してほしい。」「家庭ではほめて明日につながるようにプラスの声かけを心がけていこうと思う。」「最高学年としての責任感や自信がすごく伝わってくる。いろんなことにチャレンジできるよう背中をおしてあげようと思う。」等、たくさんの方々から子どもへの期待や励ましを寄せていただいています。

「がんばってるね。」「応援してるよ。」等の承認や励ましの言葉は、子どもの心を強く豊かなものにします。そして、今持っている力よりも少し上にある課題に、粘り強く取組もうとする意欲を高める「魔法の言葉」だと思います。

明日から冬休みに入ります。特に、年末年始は大変忙しい時期ですが、「子どもも家族や社会の一員であること」「ちゃんと耳を傾け、しっかり目を合わせること」「やろうと思ったことはすぐに行動すること」等を大切にして、家庭や地域で過ごしてほしいと思います。

あとになりましたが、この一年、保護者の皆様をはじめ地域の方々の温かいご支援とご協力に心よりお礼を申しあげ、第 2 学期終了のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。



校長 藤原 佳弘
教職員 一同